

# 2025年度 第10回 WEBアンケート 調査報告書

## 1 「鉄道利用」

都市局交通政策課

## 2 「緑と水辺とのかかわり」

都市局緑政課

## 3 「科学都市ちば」

千葉市教育委員会事務局生涯学習振興課

## 4 「障害についての理解や配慮」

保健福祉局障害者自立支援課

総合政策局市長公室広報広聴課

## 目次

### WEBアンケート調査結果

	ページ
・ 概要	..... 1
・ 「鉄道利用」	..... 2
・ 「緑と水辺とのかかわり」	..... 4
・ 「科学都市ちば」	..... 7
・ 「障害についての理解や配慮」	..... 9
・ その他	..... 11

### 回答者属性

回答者数	1,704人
------	--------

性別		
男性	781人	45.8%
女性	863人	50.6%
その他	9人	0.5%
未回答	51人	3.0%

職業		
会社員	488人	28.6%
自営・自由業	59人	3.5%
パート・アルバイト	349人	20.5%
公務員	89人	5.2%
学生	48人	2.8%
専業主婦・主夫	300人	17.6%
無職	337人	19.8%
その他	34人	2.0%

年代		
10代以下	24人	1.4%
20代	60人	3.5%
30代	139人	8.2%
40代	244人	14.3%
50代	424人	24.9%
60代	448人	26.3%
70代以上	365人	21.4%

居住区		
中央区	302人	17.7%
花見川区	242人	14.2%
稲毛区	293人	17.2%
若葉区	132人	7.7%
緑区	215人	12.6%
美浜区	471人	27.6%
市内在勤・在学	49人	2.9%

2025年度 第10回

調査名	「鉄道利用」「緑と水辺とのかかわり」「科学都市ちば」「障害についての理解や配慮」
調査期間	令和7年12月26日(金)午前9時～1月10日(土)午後5時

概要:

<p>1 「鉄道利用」          普段の外出時の交通手段として、鉄道・モノレールの利用状況をお聞かせいただき、今後の施策検討の参考とさせていただきます。</p> <p>2 「緑と水辺とのかかわり」          緑と水辺のまちづくり活動についての考えをお聞きし、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>3 「科学都市ちば」          科学(※1)に対するイメージや認知度、各種イベントの参加状況などをお聞かせいただき、「科学都市ちば」の実現に向けた参考とさせていただきます。          ※1 学問としての科学のほか、最先端技術や生命、自然、環境など、生活の中で広く活用させている取り組み全般を指す。</p> <p>4 「障害についての理解や配慮」          障害のある人に対する理解や配慮等に関する行動についてお聞かせいただき、現状分析を行うとともに今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p>
---

参考URL

<a href="https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/kotsu/train.html">https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/kotsu/train.html</a>
<a href="https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/keikaku/r5urbangreenplanning.html">https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/keikaku/r5urbangreenplanning.html</a>
<a href="https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/scienceeducation.html">https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/scienceeducation.html</a>
<a href="https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/jiritsu/keikaku/r6keikaku.html">https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/jiritsu/keikaku/r6keikaku.html</a>

- Q1: はじめに、「鉄道の利用」についてお聞きします。  
 普段、鉄道等(※2)を利用する際の主な目的・用途は何ですか。  
 ※2 鉄道、モノレール

(最大3つまで)(入力必須) [n=1,704]

通勤	637	37.4%
通学	47	2.8%
レジャー・遊び →Q3へ	864	50.7%
買い物 →Q3へ	627	36.8%
観光 →Q3へ	324	19.0%
通院 →Q3へ	196	11.5%
帰省 →Q3へ	143	8.4%
出張・ビジネス(通勤を除く) →Q3へ	72	4.2%
その他( )30字以内 →Q3へ	38	2.2%
普段、鉄道等は利用しない →Q7へ	218	12.8%

- Q2: 普段の通勤・通学時において、鉄道等の乗換を何回行いますか(直通運転による他路線への乗り入れは乗換に含みません)。

(1つだけ)(入力必須) [n=636]

0回(乗り換えなし)	227	35.7%
1回	266	41.8%
2回	112	17.6%
3回	22	3.5%
4回以上	9	1.4%

- Q3: (Q1で「普段、鉄道等は利用しない」と回答した方以外)  
 鉄道等を利用する際の主な行き先はどこですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,486]

東京都	674	45.4%
千葉市内	501	33.7%
千葉県内(千葉市以外)	243	16.4%
神奈川県	20	1.3%
埼玉県	12	0.8%
茨城県	1	0.1%
その他	35	2.4%

- Q4: (Q1で「普段、鉄道等は利用しない」と回答した方以外)  
 普段利用する鉄道等の路線は何ですか。上位3つまで選択してください。

(最大3つまで)(入力必須) [n=1,486]

JR総武線(快速)	759	51.1%
JR京葉線	709	47.7%
JR総武線(各駅停車)	706	47.5%
JR外房線	238	16.0%
京成千葉線	187	12.6%
千葉都市モノレール	177	11.9%
JR内房線	102	6.9%
JR武蔵野線	88	5.9%
JR総武本線	72	4.8%
京成千原線	67	4.5%
その他( )30字以内 ※路線名を1つご記入ください	95	6.4%

Q5: (Q1で「普段、鉄道等を利用しない」と回答した方以外)  
 鉄道等を主に利用する時間帯はいつですか。

(最大2つまで)(入力必須) [n=1,486]

朝(4～6時台)	166	11.2%
朝(7～9時台)	755	50.8%
昼(10～12時台)	600	40.4%
昼(13～15時台)	288	19.4%
夜(16～18時台)	481	32.4%
夜(19～21時台)	278	18.7%
夜(22～24時台)	37	2.5%

Q6: (Q1で「普段、鉄道等を利用しない」と回答した方以外)  
 普段鉄道等を利用する際の乗車時間(乗り換え時間を含む)はどのくらいですか。片道分の乗車時間でお考えください(最も頻度の高い行先を想定してお答えください)。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,486]

30分未満	440	29.6%
30分以上1時間未満	522	35.1%
1時間以上1時間半未満	396	26.6%
1時間半以上2時間未満	97	6.5%
2時間以上	31	2.1%

Q7: 鉄道等を利用する中で改善を望むことはありますか。

【選択肢補足】

※3 非接触型決済のこと。タッチ決済とも呼ばれる。交通系ICカード、クレジットカード、スマートフォンをタッチして行う決済方法。

(最大3つまで)(入力必須) [n=1,704]

便数の充実(本数などの増加)	681	40.0%
利用料金の値下げ	664	39.0%
乗り継ぎ環境の改善(乗り換えを考慮したダイヤ設定等)	456	26.8%
車内の混雑緩和	452	26.5%
快速列車の新規設定もしくは増発	290	17.0%
バリアフリー設備の充実(ホームドア設置、段差の解消等)	206	12.1%
相互直通運転による利便性の向上(乗り換え不要、行き先の選択肢増加など)	201	11.8%
乗り継ぎ場所や乗り場での分かりやすい案内	189	11.1%
定刻どおりに列車が発着する(遅延等の防止)	134	7.9%
乗車券の購入や払い戻しができる有人窓口の増加	100	5.9%
運行時間の拡大(始発便を早く、最終便を遅く等)	63	3.7%
快速列車の停車駅を減らす	57	3.3%
快速列車の停車駅を増やす	37	2.2%
改札機における乗車手段の充実(交通系IC以外のコンタクトレス決済(※3)の拡充など)	65	3.8%
特にない	159	9.3%

Q8: 次に、「緑と水辺とのかかわり」についてお聞きします。  
過去5年間で「緑と水辺を守ったり、育てたり、学んだりする活動」(以下、「緑と水辺のまちづくり活動」)で参加したことがあるものを教えてください。

【選択肢補足】

※4 ボードに立ってバランスを取りながら、パドルを漕いで水面を進むアクティビティ。

※5 公園を地域の庭として、積極的に管理し、地域のために活用していく、魅力ある空間としていく活動。

※6 スマホアプリで、地域での困った課題(公園や水辺にごみが落ちているなど)や、市が投げかけたテーマに沿ったレポートをして、市民と市役所で情報を共有し、合理的・効率的に解決する仕組み。

※7 撮影した動植物の写真から自動で名前を判定する「いきもの名前判定AI」を備える無料アプリ。

(いくつでも)(必須入力)

[n=1,704]

海辺での清掃ボランティア活動	122	7.2%
公園での清掃ボランティア活動	102	6.0%
海辺での自然観察会	83	4.9%
植物園などでの緑や花に関する講習会	68	4.0%
街路樹の手入れ(剪定・刈込作業)や落ち葉清掃	64	3.8%
市民農園や貸農園などでの野菜づくり	62	3.6%
地域での花壇づくり活動	61	3.6%
海辺での体験活動(SUP(スタンドアップパドルボード)(※4)の体験教室など)	58	3.4%
公園でのマルシェなどのイベントの開催、清掃・草刈・剪定等の一体的な管理(パークマネジメント(※5))	57	3.3%
川辺での自然観察会	54	3.2%
川辺での清掃ボランティア活動	38	2.2%
「ちばレポ(※6)」を活用した、緑や水辺に関する投稿、課題解決の実践	36	2.1%
川辺での体験活動(カヤック体験など)	32	1.9%
谷津田や森林(里山、雑木林)での保全活動	20	1.2%
「ちばレポ」や「Biome(※7)」アプリを活用した、身近な生き物さがし	19	1.1%
川辺でのビオトープ保全活動	15	0.9%
私有地を地域の庭として貸し出す活動	2	0.1%
1つもない →Q10へ	1,202	70.5%

Q9: Q8の「緑と水辺のまちづくり活動」は何で知りましたか。

(いくつでも)(必須入力)

[n=502]

広報紙(ちば市政だよりやパンフレットなど)	377	75.1%
ホームページ	103	20.5%
町内自治会等からのチラシ	49	9.8%
活動に参加している人	39	7.8%
SNS(XやFacebookなど)	37	7.4%
実際に活動している場所	15	3.0%
学校などの教育機関からのチラシ	13	2.6%
動画(YouTubeなど)	8	1.6%
その他( )50字以内	11	2.2%
活動を昔から続けているので、上記にあてはまるものがない→Q11へ	18	3.6%

Q10: (Q8で「1つもない」と答えた方)  
 緑と水辺のまちづくり活動に参加したことがない理由は何ですか。

(いくつでも)(必須入力) [n=1,204]

活動が行われていることを知らなかった	554	46.0%
興味や関心が湧かない	283	23.5%
活動に参加することのメリットを感じない	54	4.5%
参加したかったが、時間がなかった(時間帯が合わなかった)	160	13.3%
参加したかったが、体力、健康面で不安があった	91	7.6%
参加したかったが、誰に聞いて良いかわからなかった	24	2.0%
参加したかったが、活動に強制力を感じた	7	0.6%
その他( )50字以内	31	2.6%

Q11: 緑と水辺のまちづくり活動で、今後参加したい、またはこれからも参加したいと思うものを教えてください。

(いくつでも)(必須入力) [n=1,704]

海辺での清掃ボランティア活動	324	19.0%
海辺での自然観察会	312	18.3%
川辺での自然観察会	283	16.6%
公園での清掃ボランティア活動	263	15.4%
植物園などでの緑や花に関する講習会	252	14.8%
海辺での体験活動(SUP(スタンドアップパドルボード)(※4)の体験教室など)	244	14.3%
市民農園や貸農園などでの野菜づくり	216	12.7%
川辺での清掃ボランティア活動	171	10.0%
川辺での体験活動(カヤック体験など)	165	9.7%
地域での花壇づくり活動	161	9.4%
公園でのマルシェやイベントの開催、清掃・草刈・剪定等の一体的な管理(パークマネジメント(※5))	152	8.9%
街路樹の手入れ(剪定・刈込作業)や落ち葉清掃	147	8.6%
「ちばレポ(※6)」を活用した、緑や水辺に関する投稿、課題解決の実践	103	6.0%
「ちばレポ」や「Biome(※7)」アプリを活用した、身近な生き物さがし	88	5.2%
谷津田や森林(里山、雑木林)での保全活動	82	4.8%
川辺でのビオトープ保全活動	71	4.2%
私有地を地域の庭として貸し出す活動	17	1.0%
その他( )50字以内	5	0.3%
1つもない	379	22.2%

Q12: 今後どのようなことがあれば、緑と水辺のまちづくり活動に参加したい、または参加し続けたいと思いますか。

(いくつでも)(必須入力) [n=1,704]

参加すると特典がある	690	40.5%
活動を知る機会が増える(広報の充実など)	621	36.4%
参加しやすい曜日、日時で実施される	611	35.9%
参加を強制されない、参加したいときの事前登録が不要	431	25.3%
自分の興味・関心などにあった活動の紹介窓口がある	322	18.9%
子どもと参加できる	193	11.3%
参加者から話を聞く機会がある、体験会がある	95	5.6%
打合せや会議のオンライン化で活動が効率化する	58	3.4%
参加したいと思わない	216	12.7%
その他( )50字以内	22	1.3%

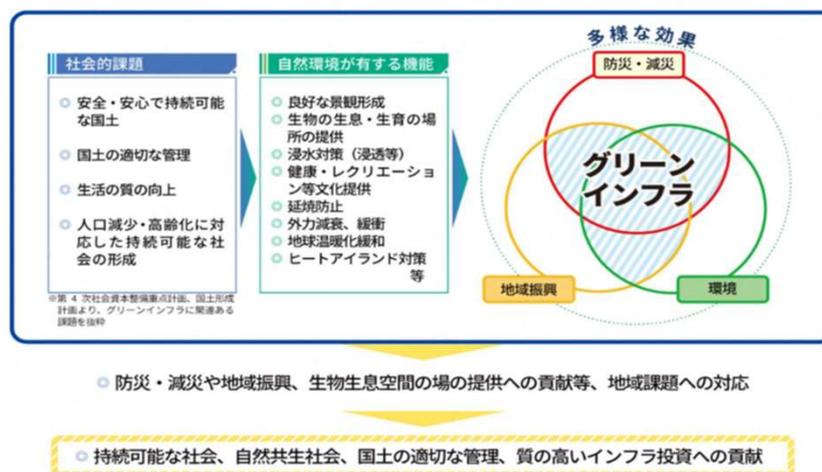
Q13: 緑と水辺のまちづくり活動の「募集情報」について、どのような広報が効果的だと思いますか。

(いくつでも)(必須入力)

[n=1,704]

ちば市政だよりでの周知・啓発	1,363	80.0%
ホームページでの周知・啓発	527	30.9%
ポスターなどの掲示物での周知・啓発	390	22.9%
SNS(LINE)での周知・啓発	303	17.8%
イベントでの周知・啓発	274	16.1%
学校などの教育機関での周知・啓発	237	13.9%
SNS(X)での周知・啓発	222	13.0%
新聞や雑誌などの記事での周知・啓発	195	11.4%
動画(YouTube)での周知・啓発	162	9.5%
SNS(Instagram)での周知・啓発	175	10.3%
テレビでの周知・啓発	156	9.2%
SNS(Facebook)での周知・啓発	102	6.0%
ラジオでの周知・啓発	84	4.9%
家族や知人からの情報	66	3.9%
その他( )30字以内	31	1.8%

Q14-1: 以下の画像はグリーンインフラの説明です。グリーンインフラとは、自然が有する多様な機能(※8)を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める考え方です。  
 ※8 生物の生息の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制など  
 (出典:国土交通省 グリーンインフラの考え方)



Q14-2: Q14-1のグリーンインフラという言葉を知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1,704]

知っていた(考え方は知らなかった)	107	6.3%
知っていた(大まかな考え方を知っていた)	132	7.7%
知っていた(考え方を他人に説明することができる)	25	1.5%
知らなかった	1,440	84.5%

Q15: 次に、「科学都市ちば」についてお聞きます。  
本市では、産業界、大学などの研究機関、市民団体などが連携を深め、人材の輩出や産業・技術の振興などを行い、未来に希望を持てるまちづくりとして「科学都市ちば」を目指していますが、この取り組みを知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,704]

知っていた(内容は知らなかった)	328	19.2%
知っていた(内容も知っていた)	163	9.6%
知らなかった	1,213	71.2%

Q16: 千葉市科学館に行ったことがありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,704]

ある →Q18へ	1,126	66.1%
ない	578	33.9%

Q17: (Q16で「ない」と回答した方)  
行ったことがない理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=578]

行くきっかけがない	344	59.5%
場所がわからない	132	22.8%
千葉市科学館を知らない	110	19.0%
場所が不便	58	10.0%
時間がない	58	10.0%
子ども向けの施設だと思う	53	9.2%
駐車場が有料	45	7.8%
科学に興味がない	34	5.9%
料金が安い	25	4.3%
子どもがまだ小さい	20	3.5%
展示物に魅力がない	10	1.7%
プラネタリウムの番組に魅力がない	5	0.9%
その他	12	2.1%

Q18: 「科学都市ちば」の一環として「科学フェスタ2025(※9)」を開催しましたが、知っていましたか。  
※9日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学の祭典。今年度は10月11日(土)、12日(日)にきぼーるでメインイベントを開催し、科学体験ブース、実験・工作教室、科学館無料開放などを実施。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,704]

知っていた(内容も知っていた)	196	11.5%
知っていた(内容は知らなかった) →Q21へ	243	14.3%
知らなかった →Q21へ	1,265	74.2%

Q19: 10月11日、12日にきぼーる内各会場で実施した「科学フェスタ2025」のメインイベントに参加しましたか。  
(1つだけ)(入力必須) [n=196]

参加した →Q21へ	40	20.4%
参加しなかった	156	79.6%

Q20: (Q19で「参加しなかった」と回答した方)  
「科学フェスタ2025」に参加しなかった理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=156]

都合が合わなかった	77	49.4%
時間がない	41	26.3%
行くきっかけがない	25	16.0%
駐車場が有料	22	14.1%
子ども向けのイベントだと思う	17	10.9%
混雑していそう	16	10.3%
おもしろいイベントがなかった	9	5.8%
感染症予防	8	5.1%
整理券の配付が終わっていた、事前申込の人数がいっぱいだった	5	3.2%
子どもがまだ小さい	5	3.2%
場所が不便	4	2.6%
科学に興味がない	2	1.3%
内容が難しそうだった	3	1.9%
その他	14	9.0%

Q21: 科学に関することで、本市に期待するものは何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,704]

子どもの科学への興味を高める	880	51.6%
環境問題への取組み	614	36.0%
産業振興への支援(先端技術開発 など)	554	32.5%
科学の学習機会充実(市民向けの講座 など)	492	28.9%
学校教育における科学分野の充実	433	25.4%
科学館の展示物の充実	384	22.5%
大学や企業との共同研究	355	20.8%
企業・研究機関の取組みの紹介	234	13.7%
特にない	157	9.2%
その他( )50字以内	17	1.0%

Q22: 最後に、「障害についての理解や配慮」についてお聞きします。  
 障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあう暮らしを目指すことを「共生社会」と言います。考え方を知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,704]

考え方を知っていた	826	48.5%
言葉だけ知っていた	506	29.7%
知らなかった	372	21.8%

Q23: 市では「障害者週間(※10)」を中心に障害のある人に対する理解を深めるために、さまざまな行事や催しを行っています。あなたはこのような行事や催しへ参加したことはありますか。  
 ※10 広く障害者の福祉について関心と理解を深めるとともに、障害者があらゆる分野の活用に積極的に参加する意欲向上のために障害者基本法で定められており、毎年12月3日から9日までの1週間を期間としている。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,704]

毎年参加している →Q25へ	13	0.8%
何度か参加したことがある →Q25へ	113	6.6%
参加したことがない	1,578	92.6%

Q24: (Q23で「参加したことがない」と回答した方)  
 どのような行事や催しなら参加してみたいと思いますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,578]

障害のある人たちがつくった食品、小物類などの販売イベント	600	38.0%
障害のある人たちが作成した絵画等展示会・作品展	526	33.3%
障害のある人たちの演劇やコンサート	253	16.0%
障害のある人のことをテーマにしたセミナーやシンポジウム	246	15.6%
その他( )30字以内	26	1.6%
特になし	488	30.9%

Q25: あなたは、障害のある人が困っているとき、手助け(声かけ、荷物等の持ち運び、横断歩道など渡るとき  
 の付き添い、聞こえない方との筆談など)をしたことがありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,704]

ある(今後ほしい)	837	49.1%
ある(今後ほしくない)	38	2.2%
ない(今後ほしい)	689	40.4%
ない(今後ほしくない)	140	8.2%

Q26-1: 以下の画像はヘルプマークです。障害のある方や妊娠初期の方などが、援助を必要としていることを周囲の方々に知らせるために作られたマークです。



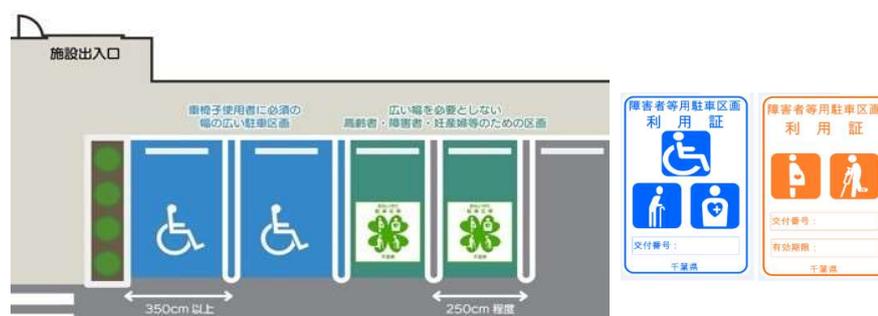
Q26-2: あなたは、Q26-1のヘルプマークについて知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,704]	
知っていた	1,383	81.2%
知らなかった(見たことがある)	160	9.4%
知らなかった(見たこともない)	161	9.4%

Q27: 本市では、2025年6月に「千葉市手話言語の普及及び障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」を施行し、手話が独自の文法体系を持つ言語である理解の促進、普及を目指すこととしています。あなたは、手話を学んだり、親しむ機会がありますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,704]	
ある(今後も学びたい)	167	9.8%
ある(今後は学ぶ予定はない)	84	4.9%
ない(機会があれば学びたい)	964	56.6%
ない(今後も学ぶ予定はない)	489	28.7%

Q28-1: 公共施設や商業施設などには以下の画像のような障害者等用駐車区画が設置されています。ここは、歩行が困難又は移動に配慮が必要と認められる人(障害者、介護が必要な高齢者、妊産婦、けが人など)があらかじめ利用証の交付を受けて、適正に利用するための区画です。



Q28-2: Q28-1を「パーキング・パーミット制度」といいますが、この区画の設置を知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,704]	
知っていた(同区画の適正利用に関するルール・マナーを守っている)	929	54.5%
知っていた(同区画の適正利用に関するルール・マナーは気にしてしない)	93	5.5%
知らなかった	682	40.0%

## その他

Q1: はじめに、「鉄道の利用」についてお聞きします。  
普段、鉄道等(※2)を利用する際の主な目的・用途は何ですか。  
※2 鉄道、モノレール

### 【その他 主な理由】

・ ボランティア活動。(3件)
・ 孫の送迎。(2件)
・ 食事。(2件)
・ 落語観覧.展示会.友人宅や親戚訪問にボランティア参加。
・ 野菜づくりをしている畑への移動手段。
・ ボランティア活動などをする際に利用。
・ パスポート申請、習い事の大会など。
・ ボランティアなどの地域活動。
・ 旅行会社や病院や買い物。
・ 芸術鑑賞やスポーツ観戦。
・ 研修、セミナーなど。
・ イベントなどの移動。
・ 子供が乗りたがる為。
・ 子供の住む町に行く。
・ イベントへの参加。
・ 仕事(乗務員)。
・ 孫に会いに行く。
・ 銀行、役所等。
・ 趣味学習の為。
・ 息子夫婦の家。
・ 学校めぐり。
・ 教会に通う。
・ 子供の送迎。
・ 趣味の練習。
・ 友人等懇親。
・ お墓参り。
・ サークル。
・ 親の介護。
・ 生涯学習。
・ 習い事。
・ 介護。
・ 銀行。
・ 部活。

Q4: (Q1で「普段、鉄道等を利用しない」と回答した方以外)  
 普段利用する鉄道等の路線は何ですか。上位3つまで選択してください。

【その他 主な路線】

・ 京成本線 (15件)
・ 東京メトロ (12件)
・ 東西線 (11件)
・ 東葉高速鉄道 (5件)
・ 東武アーバンパークライン (4件)
・ 東京メトロ東西線 (4件)
・ 東京メトロ日比谷線 (3件)
・ りんかい線 (3件)
・ 京成松戸線 (2件)
・ JR東金線 (2件)
・ 山手線 (3件)
・ 地下鉄東西線 (2件)
・ 成田線 (2件)
・ 西船橋からメトロ東西線
・ JR常磐線各駅停車
・ 営団地下鉄 東西線
・ 東京メトロ丸ノ内線
・ 東京メトロ半蔵門線
・ 地下鉄 東西線等
・ メトロ有楽町線
・ JR横須賀線
・ メトロ東西線
・ 中央線(快速)
・ ゆりかもめ
・ 京成成田線
・ 西武新宿線
・ 都営新宿線
・ 都営浅草線
・ 東武東上線
・ 東武野田線
・ 横須賀線
・ 小田急線
・ 有楽町線
・ メトロ

・ 京急線
・ 京成線
・ 地下鉄
・ 中央線

Q8の「緑と水辺のまちづくり活動」は何で知りましたか。

【その他 主な理由】

・ ちばシティポイントのお知らせ。
・ 千葉県の ちばボランティアナビ。
・ 千葉市のWEBアンケート。
・ 親から教えてもらった。
・ 生涯大学校の講義で。
・ 地域づくり大学校。
・ イベント。
・ 出前講座。
・ ラジオ。

Q10: (Q8で「1つもない」と答えた方)  
 緑と水辺のまちづくり活動に参加したことがない理由は何ですか。

【その他 主な理由】

・	電話や一部自治会に対応してくれる場所を探して見付けたが対応や相談でも積極的な所を見受けられなかった。
・	活動できるものの情報がわからなかった。自宅近くで活動があるのか分からなかった。
・	子供向けや親子向けのものが多い印象で、独身者が一人で参加するのは気が引ける。
・	参加することはいいことだと思うが自宅の庭の手入れや趣味、家事で充実。
・	会などに参加するのではなく、自分たちで自然観察をしたかったから。
・	病院ボランティアをしてるので時間がかけられなかった為。
・	参加したかったが参加募集の抽選から外れた。
・	参加する時間がない、タイミングが合わない。
・	砂浜のペットボトル回収を個人で行った。
・	70を過ぎて体調がよくない日が多い。
・	何となく参加できるものがないから。
・	発達障害の子がいるので参加が疲れる。
・	情報がどこに出てるかわからない。
・	活動拠点までの移動手段がない。
・	趣味の時間を優先にしている為。
・	小さい子供がいて参加しにくい。
・	自分の家周りの管理で手一杯。
・	幼児がいる為参加が難しい。
・	子育て中で参加しにくい。
・	障害のため移動できない。
・	忙しく時間がとれない。
・	都合が合わなかった。
・	身近に活動が無い。
・	時間がない。
・	身体障害者。
・	東京で参加。
・	忙しいので。

Q11: 緑と水辺のまちづくり活動で、今後参加したい、またはこれからも参加したいと思うものを教えてください。

【その他 主な理由】

・	アリオなど駐車場のあるイベントスペースで子供と一緒に参加できるものがあればうれしいです。猛暑日以外。
・	小さい子どもでも参加可能なイベント。
・	緑地帯の落ち葉清掃やゴミ拾い。

Q12: 今後どのようなことがあれば、緑と水辺のまちづくり活動に参加したい、または参加し続けたいと思いますか。

【その他 主な理由】

・	集まりやすいイベントを行い、市政だよりなどでお知らせしみるなど。スタンプラリーでポイントが貯まるとか。
・	療養中だが体を自由に動かせるようになったら参加したいように。
・	身近な場所で興味のある活動が開催されていれば。
・	LINE等で情報が届きエントリーできる。
・	子供と歩いて行ける場所で機会があること。
・	参加しやすい交通手段があれば…。
・	自宅から徒歩距離に活動がある。
・	体調が良くなれば参加できるかも。
・	一人でも参加しやすい雰囲気。
・	一人ででも参加しやすい。
・	インスタで様子がわかる。
・	良い環境が提供されれば。
・	行事が居住地に近くな。
・	家の近くでの活動場所。
・	有名人などが参加する。
・	自分の体力が持てば。
・	孫との参加。

Q13: 緑と水辺のまちづくり活動の「募集情報」について、どのような広報が効果的だと思いますか。

【その他 主な理由】

・ 稲毛海浜公園清掃などは駐車場無料提供があれば参加が増える。
・ 現状の物で良いと思いますが今一つ意識が向き辛く感じます。
・ 幼児が大きくなるまでは、落ち着いて広報物を読めない。
・ SNS (BlueSky での周知・啓発。
・ 千葉テレビ以外のテレビ周知、JRでの広告。
・ ちばシティポイントアプリのプッシュ通知。
・ 地域新聞などフリーペーパーにチラシイン。
・ 千葉ふー太アプリでのお知らせ。
・ スーパーなどに貼ってほしい。
・ 公民館で知れるようにする。
・ 自治会館からのお知らせ。
・ 駅構内にチラシを置く。
・ 広報広聴課発信メール。
・ 図書館でのチラシ配布。
・ 町内会を通しての周知。
・ LINEでの通知。
・ アプリでの告知。
・ ちばぼのアプリ。
・ ちばぼで募集。
・ 自治会経由。
・ メール。
・ 回覧板。

Q21: 科学に関することで、本市に期待するものは何ですか。

【その他 主な理由】

・ 学校関係者の出展ばかりで、都内のイベントみたいにかくさんの企業がブース出展すると行きたくなる。
・ 展示物は大概自己満足 それよりも活動が興味が湧くように伝えることができるイベントが必要。
・ 本市の科学に関する事とは具体的どういものかもっと現実味やその存在を示して欲しいです。
・ 自動運転の実証運転誘致など、地域インフラを生かした取り組み。
・ 名古屋市科学館は素晴らしかった。是非参考にされたい。
・ 公立(県立あるいは千葉市立の理工学系大学の)新設。
・ 身近にしている事やできる事を知る紹介。
・ 近くの工業地帯の役割、安全性への理解。
・ 大人にも科学への興味をたかめると良い。
・ 展示物がアップデートされず、古臭い。
・ 名古屋市科学館を見習ってもらいたい。
・ 遊ぶものが多くなってほしいです。
・ 産学官民の連携共創活動など。
・ 関連企業への雇用の促進。
・ 医療分野の科学の発展。
・ 楽しいかどうか。

Q24: (Q23で「参加したことがない」と回答した方)  
どのような行事や催しなら参加してみたいと思いますか。

【その他 主な理由】

・ 障害のある、なしに関係なくできる、ポッチャ等スポーツイベント。
・ 障害者を普通の職場で雇用する方法論について啓発するセミナー等。
・ 一過性のイベントではなくいつでも参加できるプラットフォーム。
・ 近くのコミュニティセンター等で開催して頂ければ参加し易い。
・ 特別なイベントとかではなく、行けば日常的にふれあえる場所。
・ 障害者へのサポートの仕方を教えてくれるイベント。
・ フロアホッケー等健常障害者共可能スポーツ開催。
・ 障がい者スポーツの観戦や参加とその後のトーク。
・ 障害者が働ける環境への健常者がする考え方。
・ 障害者連れで安全確保しやすい環境であれば。
・ 障害児の息子でも参加できる内容。
・ 障碍のある人の意見を聞きたい。
・ 子供と参加しやすいイベント。
・ 話を当事者を交えて聞く会。
・ 一緒に参加する体験会。